



日頃からの災害への備えが大切です

with 浪速区防災マスター

何事もまずはやってみることが大事です。いざという時、「行ったことある!」「使ったことある!」この経験が活かされます! この機会に、少しの時間「備え」について考えてみましょう~!

浪速区役所市民協働課 古川 智之



地震に備える

建物が無事でも家具が転倒すると、その下敷きになってケガをします。阪神・淡路大震災でケガをした人の約5割が家具の転倒によるものでした。家具の配置方法や、間取りに合わせた対策が重要です。

家の中の安全確認

対策をしていないと、家の中にも危険な場所がたくさんあります。家庭での被害を防ぐためにも、危険な場所を確認し、転倒・落下防止対策を実践しておきましょう。今は防災対策グッズも手軽に買うことができます。

対策1

出入り口や就寝位置は、家具などの転倒方向と重ならないようにする



対策2

家具の転倒範囲が就寝位置と重なる時は机などを置く



対策3

二段重ねの家具がある場合、上下の家具を連結固定する



対策4

窓ガラスや家具類のガラス面、鏡面は飛散防止フィルムを貼り付ける



固定できない時は

防災対策グッズの使用や、家具の置き方の工夫によって、対策を強化することができます。

家具と天井の間に突っ張り棒を設置する



テレビ、パソコン、家具などの下に、震動を吸収するゲルマットを貼る



Point!

ネジ固定が難しい場合は、2種類以上の器具で上下から固定しましょう!



家具の下に転倒防止のシートを敷き、壁にもたせ気味に置く



津波に備える

できるだけ早く、浸水被害のない安全な場所へ避難しましょう。

CHECK! 安全な避難場所って?

- 浸水想定区域の外側
- 最寄りの津波避難ビルなどの浸水しない安全な階
- 最寄りの高い建物や高い場所の浸水しない安全な階

避難時の注意点

大きな揺れ、ゆっくりとした揺れを感じたら、海岸や河川から離れ、避難しましょう。津波情報が出ている間は避難を続けましょう。

津波情報

予想される津波の高さ		警報の名称	みなさんの対応
数値での発表(発表基準)	巨大地震の場合の表現		
10m超(10m<高さ)	巨大	大津波警報(特別警報)	できるだけ早く、高いところへ
10m(5m<高さ≤10m)			
5m(3m<高さ≤5m)			
3m(1m<高さ≤3m)	高い	津波警報	逃げ遅れたら、高い建物、高い場所へ駆け上がる
1m(20cm≤高さ≤1m)	(表記しない)	津波注意報	津波情報に注意してください

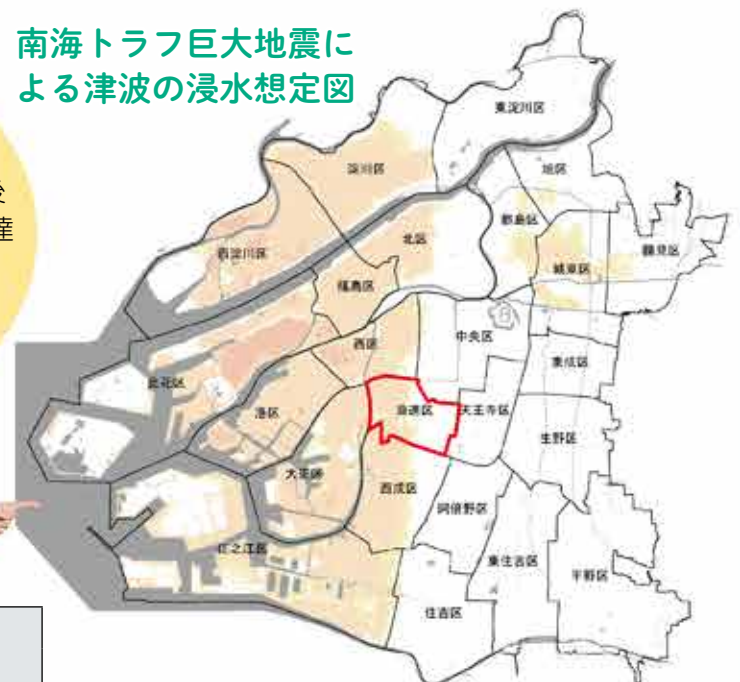
Point!

南海トラフ巨大地震による津波は、発生後110分で大阪市域に到達すると想定されています。

避難はより早く!より高く!!



南海トラフ巨大地震による津波の浸水想定図



0.5m未満 0.5~3.0m未満
3.0~5.0m未満 5.0m以上

水害ハザードマップより

水害ハザードマップはこちら

